

東木ひさよ ニュニコ通信 第13号

H26年9月藤沢市議会定例議会・決算特別委員会の報告です。11回目の一般質問で「2025年みんなで支えあふじさわづくり」をテーマに質問しました。

藤沢市議会議

東木ひさよ

TEL.88-1125



「一人の幸せのため」みんなで支えあう地域づくり



2025年超高齢社会に向けて構築する「地域包括ケアシステム」は高齢者だけでなく、子ども・若者も障がい者も、「みんなが主役」「みんなで支えあう地域づくり」です。本年6月介護

保険法改正による「日常生活支援総合事業」のガイドラインに沿って質問し、心温かな藤沢型地域包括ケアシステムの構築を要望しました。

今後の介護保険の生活支援サービス提供は事業者だけでなく、住民ボランティアも一端を担います。きめ細かいサービスが出来、ボランティア自身も元気を

保つことができます。今後、藤沢市13地区で「地域支えあいセンター」を開設の予定で

が、人材を掘り起し、支援の必要な高齢者とのマッチングを図るため①**要支援者の実態の把握**、②**全地区に「生活支援コーディネーター」の配置と「協議体」の設置へ、早期の取り組みを要望**し

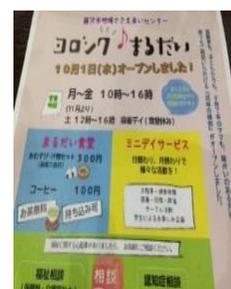
ました。成否を握るカギは『互助』。住民同士の顔の見える関係づくりを軸に、スムーズに

体制整備ができますように。

「平均寿命」から「健康寿命」の延伸へ

今後は「**健康寿命**」の**延伸**が大きな課題です。今回の法律改正で示された、「新たな介護予

防事業」の考え方は、ウォーキングや体操等身体機能の保持の他、居場所・生きがいや社会



参加も含む幅広いものです。そこで現在のボランティアポイント制度を拡充して、**新たな「お元気ポイント制度」と、そのポイントを市の名産品や商品券へ交換できる仕組みも併せて提案**しました。**高齢者自身の「セルフケア運動」と「地域デビュー運動」が進むように**、民間・市民の皆さんで知恵を出し合い、楽しく魅力ある健康アップ事業の推進を要望しました。



高齢期の住まいの確保を

夫婦のみ、一人暮らしの方が増加します。いつまでも安心して暮らせるよう訴えました。



- ①「高齢者住まい探し相談会」開催数の増加、市民センター等地域での開催。
 - ②「有料老人ホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」等、高齢者向け施設をホームページで見やすく工夫する。
 - ③民間賃貸住宅の借り上げなど、高齢者向け住宅の絶対数の確保。
 - ④ひとり暮らしの見守り等多様なサポートの体制づくり。
- 四点要望し役所内の連携で充実を図るとのことです。



政策・実績アラカルト

中学校給食モデル校が始まりました！

念願だった中学校給食の実施について、モデル校として、湘南台・善行中学校で11月から給食が開始されます（一食300円）。ホームページに献立等もアップされています。すでに8割を超える生徒が登録済みとのこと。写真右側は藤沢市ではカラフルでおしゃれなランチボックスも用意しました。味も見た目も楽しい給食になりますように！

ただ今準備中です！「防災ラジオ」システム

念願だった『防災ラジオ』のシステムの試行が始まりました。レディオ湘南と連携し、いざ災害発生時は緊急情報を割り込ませるしくみです。来年 27 年度から市民に有料配布の予定です。「防災行政無線が聞きにくい！」先日の台風でも困りましたね。解消できるようにと、3 年がかりで推進してきたものです。

地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」が開設します！



来年度施行の「生活困窮者自立支援制度」の相談窓口『バックアップふじさわ』が開設。12 月にハローワークの出先機関『ジョブスポット』も。「就労支援」「子どもの学習支援」「家計相談」。仕事、お金、住まい、病気、

子ども・・・生活の困窮が深刻にならないよう、希望すれば専門相談員が直接訪問もしてくれます。地域で「生きづらさ」を抱えて奮闘している方、早期に相談につながりますように。

道路舗装が完了。騒音が解消されました！

菖蒲沢大下交差点から菖蒲沢橋交差点まで舗装工事が完了。数年前から大型車の交通量が急激に増加し、周辺住民の方は、朝 4 時過ぎから騒音に悩まされ、新しい住宅にはひびが入るほどです。何度も要望を重ねて、本年春に工事が完了し、すっかり静かになり、喜ばれています。



通学路の安全対策が前進しました！

天神小学校通学路の石川山田自治会から、秋本橋に向かう小道は、朝の通勤時間に車・バイクが猛烈なスピードで駆け抜けます。子どもたちの安全確保のため、脇を通る水路の上に歩道を設置してきま



した。今回 3

か所目の仮設歩道が完成しました。児童の皆さんが車やバイクに衝突しませんように！